

1 日 時： 平成 30 年 2 月 16 日 (金) 15 時 50 分～17 時 00 分

2 場 所： 大阪府立清水谷高等学校 校長室

3 協議会委員：

(敬称略)

大阪人間科学大学 学長	田中 保和
大阪市立下福島中学校 校長	松永 尚子
清友会理事	小林 裕子
平成 27 年度 PTA 会長	佐々木 博康
平成 29 年度 清援会	廣兼 真弓
平成 29 年度 PTA 会長	亀井 仁志

校内出席者

校長、教頭 (事務局長)、事務長、首席 2 名

※記録：首席

4 次第

会長挨拶

校長挨拶：第 2 回学校協議会以降、「保護者からの意見書」は届いていない旨報告される。

1) 第 3 回学校協議会

① 平成 29 年度学校教育自己診断 集計結果について (首席)

- ・平成 29 年 1 2 月に実施。
- ・生徒・保護者・教職員対象に「いじめ」に関する質問項目を設けた。

(Ⅰ) 生徒の回答について

- ・「入学して良かった」という回答が 93% を超えており、良い学校と思える。
- ・生徒の 7% が不満を感じている現状であり、その不満をどう拾い上げて解決するかが課題である。

(Ⅱ) 保護者の回答について

- ・多くの質問に対し肯定的意見が多く、これを維持向上していくことが必要である。

(Ⅲ) 教職員の回答について

- ・教員間の連携・協力については、さらなる意思疎通が必要だと感じる。

②平成29年度学校経営計画及び学校評価（案）について（校長）

（Ⅰ）学習指導の充実について

- ・「学ぶ意欲を引き出す授業」への肯定率は高く今後も主体性のある学習態度育成をめざす。
- ・11月に埼玉県立浦和第一女子高等学校先進事例視察を実施。その後、校内で授業改革チームを立ち上げた。

（Ⅱ）生徒指導の充実

- ・人権教育に対する肯定率が上昇している。いじめ等人権問題の取り組みの充実を図った成果であるとする。
- ・学習活動・部活動・自治活動の三本柱を堅持したい。

（Ⅲ）学校運営の充実

- ・中学生進路希望調査の結果、旧第2地区及び旧第4地区が大きく増加している。
- ・フレッシュミーティング・コアミーティングを開催し、本校の問題点や改善点を議論し、同世代の教員間の意思疎通の充実を図った。

③平成30年度学校経営計画及び学校評価（案）について（校長）

- ・「市民としての力量を備えたおとなを育てる」ことを目的とし、あらゆる場面で「9つの力（傾聴力・理解力・思考力・想像力・判断力・発信力・行動力・協働力・創造力）」をバランスよく身に着けられるよう育成することを目標とする。
- ・「働き方改革」については、【生徒・教職員の健康管理】の項目を昨年度より掲げ、積極的に取り組んでいる。

〔委員からの意見・質問〕

- ・目標を「9つの力」にした理由は何か。
 - これらをバランスよく身に着けた者が「市民としての力量を備えたおとな」であり、どの力も必要だと考えている。学習活動・部活動・自治活動においても、この目標を目指して取り組む。
- ・清水谷生にも傾聴力・表現力・協働力が大切だと考える。
- ・施設・設備についての肯定的回答が低いのは何故か。
 - HR教室にプロジェクターが設置されていないことではないかと考える。トイレ改修やLED照明の設置は完了している。

2) 連絡

- ・「平成30年度清水谷高等学校 学校協議会」について（校長）